

50025 中等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む） Teaching Practicum in High School I(Including 1 Credit of Guidance and Followup) 50026 中等教育実習Ⅱ		4年次 通年 3単位	
担当者	石川 潤	履修可能学科	E C W F
		関連資格	教職必（E・C・W・F）
サブタイトル	教育実習（中学校・高等学校）		
授業内容 ・ ねらい	授業のねらいと内容は以下のとおりである。 ○事前指導 ・教育実習の概要を理解し、自らの目標を定め、積極的に取り組もうとする。 ・学校の教育活動への理解を深め、実践に学ぶようとする意欲をもつ。 ○教育実習 ・勤務の体験をとおして、教育作用の全般的な認識を深める。 ・教師としての必要な知識と技能を習得する。 ・教師として自覚し、教師としての使命を体得する。 ・自己の特徴と不備を知り、たえず自己の研修課題の発見とその解決に努力する。 ・大学において習得した教育の理論や原理を教育現場に適用し、主体的に経験を再構成していく能力を身につける。 ・将来の教育の方向や課題に関心をもち、先をみて教育実践に当たろうとする。 ○事後指導 ・教育実習を振り返るとともに、教師としての課題を見つけ、課題解決に当たろうとする意欲をもつ。		
授業計画	○事前指導① ・教職の意義、教員に求められる資質能力 ・教員養成制度における教育実習 ・実習生を受け入れる学校の立場 ・実習生がとらえた教育実習、学校からの要望等 ○事前指導② ・教育実習に当たって、本学がめざす教師像 ・教育実習の勤務と留意事項 ・実習生の一日の生活の流れ ・実習前・中・後の留意点 ○事前指導③・④ ・社会科、英語科、家庭科の学習指導（授業）について 事前指導⑤ ・教育活動（学級（ホームルーム）経営、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、生徒指導、給食指導、朝・帰りの会等）の実際とその留意点 事前指導⑥ ・教育実習履修簿への記載（目標、努力事項等） ・総まとめ ○教育実習 ・原則として出身校で実施 ○事後指導 ・教育実習の反省・報告 ・自己課題の明確化と対応		
教科書 参考書	教科書は特に用いない。教育実習履修簿 その他必要資料は適宜配布する。 実習校種の学習指導要領解説総則編、及び担当教科に係る学習指導要領解説。参考図書は授業の中で紹介する。		
評価方法	試験、出席状況、授業態度、教育実習レポート、教育実習履修簿、教育実習校の実習成績評価等により総合的に判定する。		
事前準備学習 履修条件等	教科指導に係る基本的な知識・技能を理解していること。本科目の履修に当たっては、さまざまな要件があるので確認しておくこと。履修に当たっては、実習はもとより事前・事後指導においても遅刻・早退・欠席はみとめられない。中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、事前指導（6回）、教育実習、事後指導（1回）を履修すること。中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、中等教育実習Ⅱの履修も必須となるので注意すること。		